

機械工学科・グローバルPBL渡航プログラム2019 (国立台北国立科技大学・台湾)

実施期間	実施国	共同実施機関	対象	参加者	本学担当教員
2019年08月05日 ～2019年08月20日	台湾	台北科技大学	・機械工学科 ・学部4年生、学部3年生	(芝浦工業大学) 学生9名、TA2名、教員2名 (台北科技大学) 学生20名、TA5名、教員4名	白井 克明(機械工学科)、諏訪 好英(機械工学科)、河野 貴裕(機械工学科)、石井 康之(機械工学科)



図1 現地で参加学生が講義を受講

2019年8月に、台湾の国立台北科技大学(NTUT)に渡航してグローバルPBLを実施した。本学からは機械工学科の3・4年生が参加し、全16日間の日程で国際ワークショップおよび課題解決学習、エクスカーションが実施された。ワークショップでは、NTUTの学生とともに屋内環境学およびクリーンルーム技術の基礎と最先端を学んだ。課題解決学習では、数名ずつに分かれて研究室に所属し、NTUTの学生と協同で、屋内環境学またはクリーンルーム技術、三次元印刷技術(3Dプリンタ)に関する実験または数値解析の課題に取り組み、最終日に実習成果を発表した。エクスカーションでは、NTUTの学生とともに台湾各地のNTUT施設および現地企業を訪問見学した。数年前に同PBLに参加した学生がTAを務めたことにより、相手先との交流や課題学習を含め全体的にPBLの質が向上した。参加学生は本プログラムを通じて国際経験を培うとともに、自らが学ぶ機械工学に対する関心と理解を深めた。



図2 学内見学での林先生の説明



図3 数値解析の実習に取り組む学生

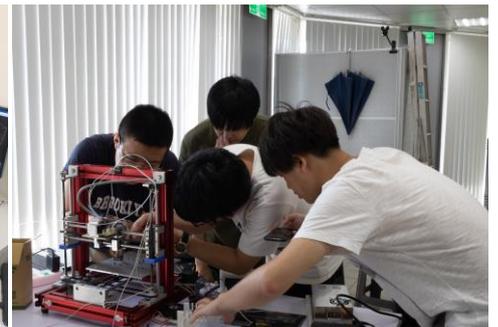


図4 三次元印刷の実習に取り組む学生

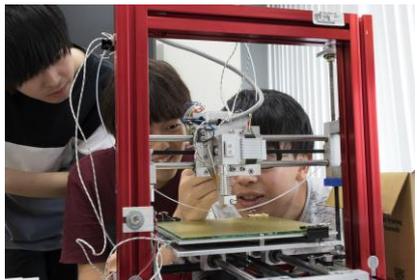


図5 三次元印刷の実習に取り組む学生

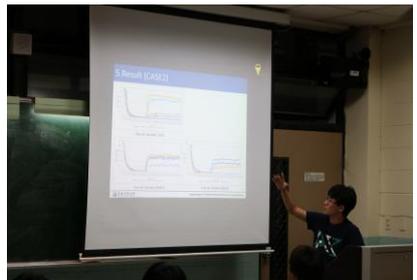


図6 身振りを交え成果発表する学生



図7 歓迎会で挨拶するNTUT胡石政先生